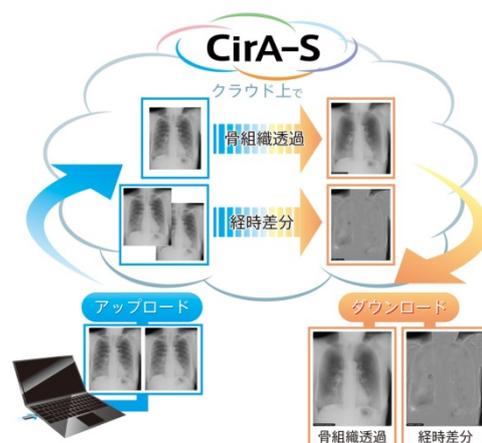


2016年2月23日
株式会社東陽テクニカ

**胸部 X 線画像診断を強力に補助
最先端画像処理ソリューション「ClearRead」をクラウド上で提供
～PSP 株式会社との提携を開始～**

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝、以下 東陽テクニカ）は、PSP 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：八木 裕子、以下 PSP）と提携し、クラウド上で胸部 X 線骨組織透過処理および経時差分処理を行うサービスを開始いたします。本サービスは PSP のクラウドプラットフォームを利用して、胸部 X 線画像を専用端末に取り込んでクラウド上の画像処理システムにインターネット回線経由でアップロードすると、東陽テクニカが提供する最先端の画像処理ソリューション「ClearRead」シリーズを使用して各種処理を施した画像をダウンロードできるサービスです。



胸部 X 線画像検査は比較的検査時間が短く、さらに低被ばくという特徴から、日々多くの医療機関で撮影されています。特に健診では、非常に多くの受診者に撮影がなされ、現在国内で注力されている予防医療の基礎を担っています。しかし、この画像から得られる情報量は限られており、僅かな病変を検出する読影業務には豊富な知識と経験が求められますが、一方、放射線専門医および呼吸器専門医の数が年々減少しているため、健診の現場では専門外の医師も胸部 X 線画像読影を担当しているケースも多く見受けられます。限られた数の医師で膨大な数の胸部 X 線画像診断を行わなくてはならないため、病変の見落としの防止や読影時の心的負担を軽減する補助技術が長らく求められてきました。

東陽テクニカが国内で販売する、胸部 X 線骨組織透過ソリューション「ClearRead BS」は、胸部 X 線画像の肋骨・鎖骨などの骨組織を透過させ、骨組織と重なり検出が困難であった肺結節や異常陰影などの視認性を向上させる最先端の画像処理技術です。また、さらなる画像処理技術である、胸部 X 線経時差分ソリューション

「ClearRead +Compare」は、同一患者の現在と過去の画像から骨組織を透過させるだけでなく、その差分を抽出し、経時変化部分を強調した画像を生成することも可能です。僅かな病変の見落とし防止や診断精度の向上に貢献し、加えて、読影を行う医師の心的負担も軽減します。

従来、数多くの検査を行う医療機関向けに専用サーバーを設置する形で本ソリューションを導入いただきましたが、今回、医用画像・通信技術を活かした PSP のクラウドプラットフォームを利用した、胸部 X 線骨組織透過/経時差分クラウドサービス「CirA-S BS」を開始し、最先端の画像処理を 1 検査毎の課金方式により、低コストで利用できるようにいたしました。院内に専門医がおらず、かつ、検査数が比較的少ない開業医やクリニックなど小規模施設においても手軽に活用いただけます。

【本サービスの特長】

本サービスは従来院内に設置した専用画像処理サーバーで実施していた、骨組織透過処理および経時差分処理を PSP のクラウドプラットフォームを用いて 1 検査毎にご利用いただけるようにしたものです。利用件数に応じた料金体系で、比較的胸部 X 線検査数が少ない開業医の皆様やクリニックなど小規模施設でも気軽に利用いただけます。本サービスは PSP から国内のお客様に提供されます。

- ・サービス名：胸部 X 線骨組織透過/経時差分クラウドサービス「CirA-S BS」
- ・料金体系：月額制（基本料金＋利用料金（画像処理 1 件あたり数百円を想定））
- ・サービス開始時期：2016 年春（予定）

「ClearRead BS」、「ClearRead +Compare」の特長

- ▶ ClearRead BS：胸部 X 線骨組織透過ソリューション
- ▶ ClearRead +Compare：胸部 X 線経時差分ソリューション

- 肺組織の視認性を劇的に向上させる
骨組織透過処理、経時差分画像を生成
- 胸部 X 線画像上の病変の見落とし防止、気づきの促進
- 読影時の医師の心的負担の軽減
- 放射線・呼吸器の専門外の医師を強力にバックアップ
- 国内外あらゆる胸部 X 線装置で撮影された画像に対応
- 経営者のリスクマネジメントに貢献



<胸部 X 線現在画像>



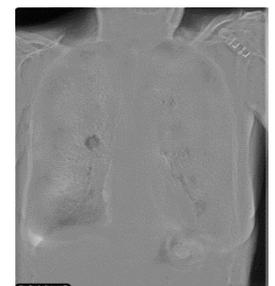
<胸部 X 線現在 BS 画像>



<胸部 X 線過去画像>



<胸部 X 線過去 BS 画像>



<経時差分画像>

※BS 画像＝骨組織透過処理画像

東陽テクニカは、画像処理ソリューション「ClearRead」シリーズを通じて、医療機関に対するリスクマネジメントを提供するとともに、病気の早期発見を支援、国内の予防医療の発展に貢献します。

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、昭和 28 年の設立時より「技術と情報」をキーワードに日本の技術発展に寄与することを使命として、主として最先端の「測るツール」を欧米の電子計測器メーカーより輸入し、日本の研究・開発者に提供してきました。さらに、「電子技術センター」における修理、校正、技術サポートや自社製品の開発、「テクノロジーインターフェースセンター」で行うお客様向けの各種セミナー、トレーニングなどの取組みは、460 名を超える全従業員の約 8 割を占めるエンジニアの技術力に裏付けられています。東陽テクニカはこれからも「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、「テクノロジーインターフェース」の使命を果たすべく努力してまいります。

東陽テクニカ Web サイト：<http://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ メディカルシステム営業部

TEL：03-3245-1351（直通） E-mail：medical@toyo.co.jp

「ClearRead BS」サイト：<http://www.toyo.co.jp/medical/products/detail/id=110>

「ClearRead +Compare」サイト：<http://www.toyo.co.jp/medical/products/detail/id=75>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。